

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成31年3月7日(2019.3.7)

【公開番号】特開2018-49948(P2018-49948A)

【公開日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2018-012

【出願番号】特願2016-184616(P2016-184616)

【国際特許分類】

H 01 F 37/00 (2006.01)

H 01 F 27/24 (2006.01)

H 01 F 27/255 (2006.01)

【F I】

H 01 F 37/00 A

H 01 F 37/00 M

H 01 F 37/00 C

H 01 F 27/24 K

H 01 F 27/24 D

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月22日(2019.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

又は、磁性コア3は、この例のように複数の分割コア片の組物とすると、コイル2Aと組み付け易く、リアクトル1Aの製造性に優れる。分割数や各分割コア片の形状、構成材料などは適宜選択できる。この例の磁性コア3は、図4に示すように、一対の分割コア片3₁，3₂を組み合わせて構成される。一方の分割コア片3₁は、一方の連結部3₄と、連結部3₄から立設され、各内側脚部3_{1a}，3_{1b}の一部を形成する二つの内脚片3_{1a}，3_{1b}、及び中央脚部3₁の一部を形成する中央脚片3₁、並びに各外側脚部3₂，3₃の一部を形成する二つの外脚片3₂，3₃とを備える。他方の分割コア片3₂は、他方の連結部3₅と、連結部3₅から立設され、各内側脚部3_{2a}，3_{2b}の他部を形成する二つの内脚片3_{2a}，3_{2b}、及び中央脚部3₂の他部を形成する中央脚片3₂、並びに各外側脚部3₂，3₃の他部を形成する二つの外脚片3₂，3₃とを備える。この例では、各分割コア片3₁，3₂の端面形状(横断面形状も同様)が図2に示すように幅方向の中心線L_wを中心として対称形状であり、かつ長さ方向の中心線L₁を中心として対称形状である。このように分割コア片3₁，3₂を同一形状、同一の大きさ、かつ対称形状とすると、分割コア片の製造性に優れる。また、この例のように一対の分割コア片3₁，3₂の組物とすると、組み付け工程が少なく、リアクトル1Aの組立作業性に優れる。磁性コア3は、異なる材料から構成される分割コア片を含む形態(例えば、複合材料の成形体から構成される分割コア片と圧粉成形体から構成される分割コア片とを含む形態など)、全ての分割コア片が同じ材料から構成される形態のいずれも利用できる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図5】

